港南区内水ハザードマップ
内水浸水想定区域（想定最大規模）

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。

※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

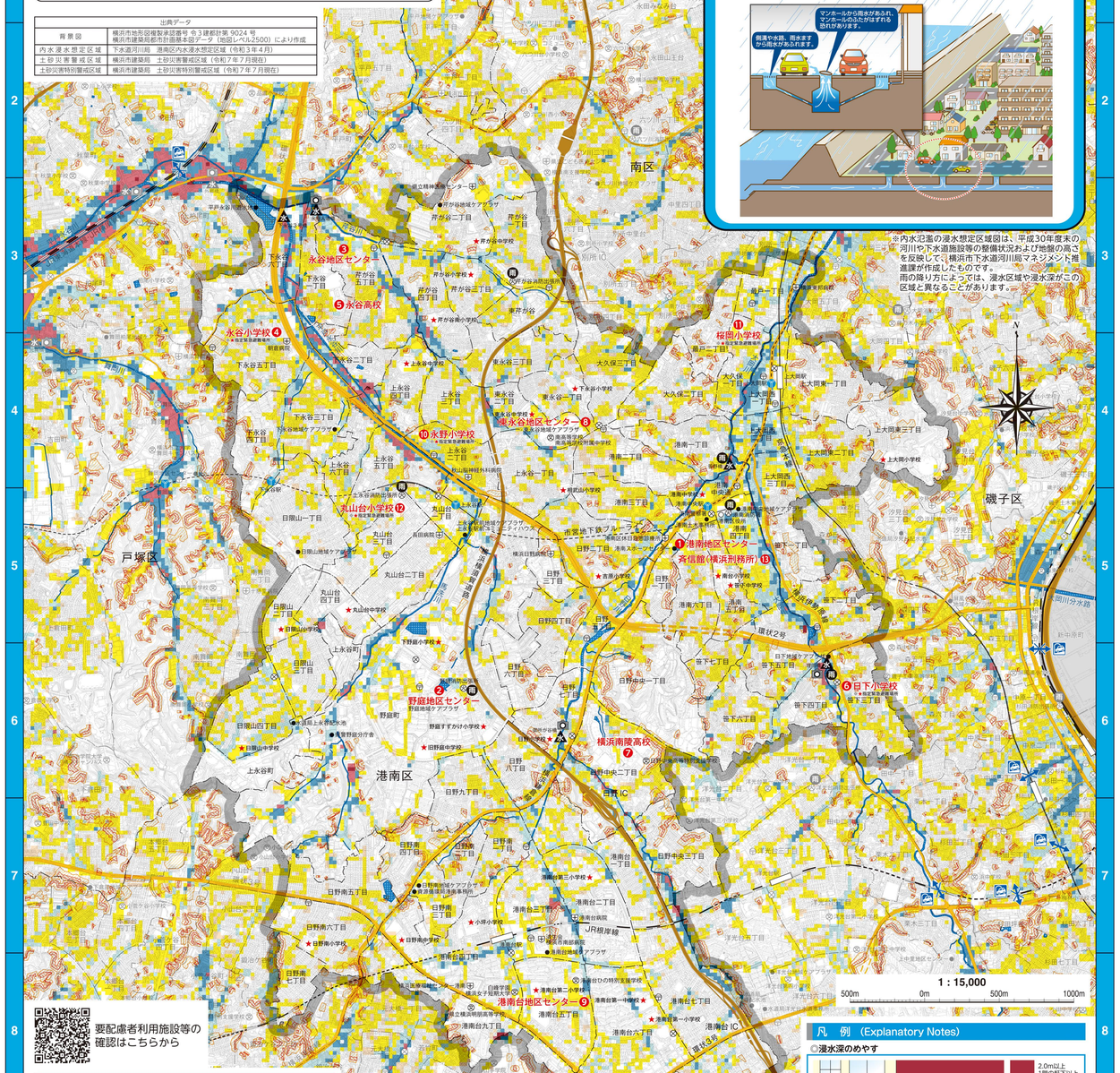
内水浸水想定区域（想定最大規模）はどうやって決めたの？

この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量153mmとしています。

なお、この内水浸水想定区域図は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。

必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

出典データ	
背景図	横浜市地形図複製承認番号 令３建都計第 9024 号 横浜市建築局都市計画課本図データ（地図レベル2500）により作成
内水浸水想定区域	下水道河川局　港南区内水浸水想定区域（令和３年４月）
土砂災害警戒区域	横浜市建築局　土砂災害警戒区域（令和７年７月現在）
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局　土砂災害特別警戒区域（令和７年７月現在）



※内水氾濫の浸水想定区域図は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜市下水道河川局マネジメント推進課が作成したものです。
雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。

要配慮者利用施設等の確認はこちらから

風水害時における避難場所について

◇**災害時には、下記の避難場所以外に、地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合もあります**ので、避難する際は、必ず、市・区のホームページやテレビ（データ放送）等で開設されている避難場所をご確認ください。

◇2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。

◇すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。

なお、港南区では避難場所として、下記に示した施設を優先して開設します。

↑港総区の避難場所は港総区ホームページをご確認ください

↑港南区の避難場所は港南区ホームページをご確認ください

状況Ⅰ　**土砂災害警戒情報の発表**（可能性があるとき）
状況Ⅱ　**河川の増水による洪水の発生**（恐れがあるとき）
状況Ⅲ　**区内全域で多くの被害の発生**（恐れがあるとき）

No.	避難場所	開設する状況 Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	対象河川
❶	港南地区センター	○	○	○	
❷	野庭地区センター	○	○	○	
❸	永谷地区センター	○	○	○	
❹	永谷小学校		○	○	平戸永谷川・芹谷川
❺	永谷高校		○	○	
❻	日下小学校		○	○	大岡川
❼	横浜南陵高校		○	○	大岡川・日野川
❽	東永谷地区センター			○	
❾	港南台地区センター			○	
❿	永野小学校			○	
⓫	桜岡小学校			○	
⓬	丸山台小学校			○	
⓭	斉信館（横浜刑務所）			○	

※対象河川が複数の避難場所は、いずれかに避難指示等が発令された場合に開設します。

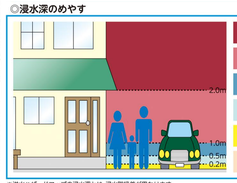
● 想定条件 ●

1時間で153mmの降雨

想定最大規模降雨

凡　例　(Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす



- 2.0m以上　1階の軒下以上
- 1.0～2.0m　床上浸水相当　1階の軒下まで
- 50cm～1.0m　床上浸水相当　大人の腰まで
- 20～50cm　床下浸水相当
- 2～20cm　道路冠水相当
- 2cm未満　道路冠水相当

※洪水ハザードマップの浸水深とは、浸水開始差が異なります。

◎避難する際に注意する箇所

アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所 （進入すると危険なため、冠水時の通行は控えてください）
土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。
土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、擁壁が生じた民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

都県界		高速道路・有料道路	
市区界		主要道路	
町丁目界		避難場所	●
J R 線・駅		指定緊急避難場所	★
私鉄線・駅		雨量観測所	
市営地下鉄線・駅		水位観測所	
河川、湖水池		河川監視カメラ	

※高速道路・有料道路は、下水道事業計画区域外のため、内水浸水想定区域の対象外になります。

港南区洪水ハザードマップ
洪水浸水想定区域（想定最大規模※）

境川水系河川：平戸永谷川、芹谷川
大岡川水系河川：大岡川、日野川

この洪水ハザードマップは、境川水系・大岡川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは
「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。

洪水浸水想定区域（想定最大規模）はどうやって決めたの？

こちらの面の洪水浸水想定区域※1の範囲やその深さは、境川水系の想定し得る最大規模の降雨（24時間で632ミリ）及び大岡川水系の想定し得る最大規模の降雨（24時間で332ミリ）を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月５日に24時間で約307ミリの降雨を観測しています。※2

なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していません。したがって着色されていない区域でも浸水が発生する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

※1　神奈川県ホームページ
（https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/cnt/f3747/p1039490.html）
※2　横浜地方気象台ホームページ
（https://www.jma-net.go.jp/yokohama/）

神奈川県ホームページ　横浜市気象台ホームページ

横浜市水防災情報

横浜市内外の河川の水位やカメラ画像をリアルタイムで公開しています。
スマートフォンでは現在地機能で近くの河川情報を取得できます。

● 想定条件 ●

境川水系：**24時間で632mm**の降雨
大岡川水系：**24時間で332mm**の降雨

要配慮者利用施設等の確認はこちらから

風水害時における避難場所について

◇**災害時には、下記の避難場所以外に、地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合もあります**ので、避難する際は、必ず、市・区のホームページやテレビ（データ放送）等で開設されている避難場所をご確認ください。

◇2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。

◇すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。

なお、港南区では避難場所として、下記に示した施設を優先して開設します。

↑港総区の避難場所は港総区ホームページをご確認ください

↑港南区の避難場所は港南区ホームページをご確認ください

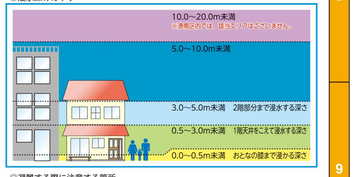
状況Ⅰ　**土砂災害警戒情報の発表**（可能性があるとき）
状況Ⅱ　**河川の増水による洪水の発生**（恐れがあるとき）
状況Ⅲ　**区内全域で多くの被害の発生**（恐れがあるとき）

No.	避難場所	開設する状況 Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	対象河川
❶	港南地区センター	○	○	○	
❷	野庭地区センター	○	○	○	
❸	永谷地区センター	○	○	○	
❹	永谷小学校		○	○	平戸永谷川・芹谷川
❺	永谷高校		○	○	
❻	日下小学校		○	○	大岡川
❼	横浜南陵高校		○	○	大岡川・日野川
❽	東永谷地区センター			○	
❾	港南台地区センター			○	
❿	永野小学校			○	
⓫	桜岡小学校			○	
⓬	丸山台小学校			○	
⓭	斉信館（横浜刑務所）			○	

※対象河川が複数の避難場所は、いずれかに避難指示等が発令された場合に開設します。

凡　例　(Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす



◎避難する際に注意する箇所

家屋倒壊等氾濫想定区域	堤防決壊等に伴う氾濫流や河岸侵食により家屋が倒壊・流出するおそれがあり、屋内での退避ではなく、早期のより高い場所への避難が必要な区域 ※家屋の構造、強度特性や圧岸対策等の違いにより、この区域の境界は赤くまでも目安です。
アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所 （進入すると危険なため、冠水時の通行は控えてください。）
土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。
土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、擁壁が生じた民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

都県界		主要道路	
市区界		避難場所	●
町丁目界		指定緊急避難場所	★
J R 線・駅		雨量観測所	
私鉄線・駅		水位観測所	
市営地下鉄線・駅		河川監視カメラ	
高速道路・有料道路			

出典データ	
背景図	横浜市地形図複製承認番号 令３建都計第 9024 号 横浜市建築局都市計画課本図データ（地図レベル2500）により作成
河川	横浜市道路局　河川図
浸水想定区域	境川水系浸水想定区域図 大岡川水系浸水想定区域図
土砂災害警戒区域	横浜市建築局　土砂災害警戒区域（令和７年７月現在）
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局　土砂災害特別警戒区域（令和７年７月現在）